

保健だより 9月

かやの実保育園

曇りや雨の日もあり、昨年よりは暑さが和らぐ日もあったように思います。8月は地震があったり、大きな台風が来たり、ゲリラ雷雨があったりと、自然の恐ろしさを感じるところもありました。9月1日は防災の日です。いざという時に慌てなくて済むように、日頃から備えておきたいですね。

7月から流行していた手足口病ですが、新規の罹患者がいなくなって一定期間が経過したため、西多摩保健所との連携が終了となりました。ご協力ありがとうございました。伝染性紅斑は、最後の罹患者が出てから20日間が経過しないと連携が終了になりません。引き続き、ご協力よろしく願いいたします。



視力検査

- 幼児クラスを対象として、
- 天気の良い日に数名ずつ行
- ないます。保育園での検査は
- 目安です。気になる症状があ
- る場合には、眼科を受診し、
- 医師にご相談ください。



子どもの目や見方に「おやっ？」と思ったら…

- テレビに近寄って見ている。
- 上目遣いにもものを見ている。
- まぶしそうにしている。
- 目を細めて見ている。
- 目を近づけて本を読んでいる。
- 何となく見えにくそうにしている。

普段の生活の中で左のような行動はありませんか？ もし当てはまるものがあつたら、視力の低下や眼の病気などの疑いがあります。何か気になることや、おかしいなと思うことがあつたら、眼科を受診しましょう。

9月9日は救急の日

救急用品の点検を

- 滅菌ガーゼ
- 三角巾
- 包帯
- ばんそうこう
- 脱脂綿
- 綿棒
- はさみ
- 体温計
- とげ抜き
- ピンセット
- 熱冷まし用シート
- ポリ袋
- ポケットティッシュ
- 消毒薬、外傷用薬品 など

ご家庭に救急箱の用意はありますか？

いざというときにすぐ取り出せるよう、必要な物をそろえておくと安心です。ときどきは中身をチェックして、期限の切れた薬品の入れ替えや、よく使う物の補充などをおこなしましょう。

9月は1日が防災の日、9日が救急の日です。地震の多い日本。今年は、台風の発生は例年並かやや多い予想ですが、発生した台風が本州に上陸するルートとなる可能性が高くなっているようです。いざというときのために、救急箱や備蓄品のチェックをしましょう。

また、体調を崩したとき、災害が発生したときなどのために、保護者の方の居場所がいつもと異なる場合には、職員への声かけをお願いします。

日本赤十字社東京支部のホームページより、非常時の持ち出し品の一覧を掲載します。保育園では、毎年9月に必要なものの見直し、交換や補充を行なっています。



非常時の持ち出し品・備蓄品 災害時の救助や救援物資の到着までに最低限必要なものは準備しておきましょう

ポイント

- 持ち出し品は、両手が使えるリュックタイプの鞆などにまとめておきましょう
- 避難の妨げにならないように、軽くコンパクトにまとめましょう
- 自分や家族の状況に応じて必要なものを置きましょう
- 自分に必要なものの優先順位を決めて準備しましょう
- 定期的に中身をチェックしましょう

貴重品

- 現金（小銭を含む）※公衆電話用に10円玉、100円玉
- 車や家の予備鍵
- 予備の眼鏡、コンタクトレンズなど
- 銀行の口座番号・生命保険契約番号など
- 健康保険証、お薬手帳
- 身分証明書（運転免許証、パスポートなど）
- 印鑑
- 母子健康手帳

清潔・健康のためのもの

- アルミ製保温シート
- 毛布
- スリッパ
- 軍手、皮手袋
- マッチ、ライター
- 給水袋
- 雨具（レインコート、長靴など）
- レジャーシート
- 簡易トイレ

情報収集用品

- 携帯電話・スマートフォン（充電器を含む）
- 携帯ラジオ（予備電池を含む）
- 家族の写真（はくれた時の確認用）
- 緊急時の家族、親戚、知人の連絡先
- 広域避難地図（ポケット地図でも可）
- 筆記用具

食料など

- 非常食
- 飲料水

便利品など

- 防災ずきん、ヘルメット
- 懐中電灯（予備電池を含む）
- 笛やブザー（音を出して居場所を知らせるもの）
- 万能ナイフ
- 使い捨てカイロ
- マスク
- ビニール袋

その他

- 紙おむつ（幼児用・高齢者用など）
- 生理用品
- 粉ミルク・哺乳瓶（赤ちゃんに必要なもの）
- その他自分の生活に欠かせないもの

ご自身の環境に合わせて必要なものを準備してください

